

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(2年目)案件:2008年2月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>○「さっぽろ雪まつり」におけるさっぽろスイーツPR事業 期 間:2月5日(火)~2月11日(月・祝) 会 場:6丁目会場 来 場 者:1,079,000人 展示内容:「さっぽろスイーツ」のPR 会場を訪れる市民や国内外からの観光客を対象に、スイーツ王国さっぽろ推進協議会のグランプリスイーツや、札幌市内のスイーツショップの紹介、おみやげ等の紹介などを行いました。ブース内にはパネル展示、イメージDVDの放映などによりさっぽろスイーツのイメージを表現し、スタッフによるパンフレット配布等で、具体的な店舗、商品などを紹介しました。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>来場者のさっぽろスイーツに対する関心は大変高く、スイーツコンペの情報のPRや、会場近くの店舗の紹介等、息つく間もないくらいの質問の嵐だった。 今年とは違い日本語だけの対応だった為、多数来場した中国、台湾方面からのお客様への案内が充分行えず、今更ながらに多言語対応の必要性を痛感した。</p>
2.	盛岡商工会議所 (南部鉄器フォ・ユーロ・ブランディング事業)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>○タウノ氏から示された検証結果、改良点、デザインの修正等に基づき、岩手県工業技術センターで試作担当工房に渡す図面の作成等を行なった。 ○改良点を反映させた本年度試作品について、それぞれの工房で試作品を製作した。 ○パッケージデザインの基本デザインを受領した。 ○タウノ氏から示された新製品共通のシンボルマーク素案を岩手県工業技術センターで数種類図案化し、タウノ氏のもとへ送って助言を求め、回答を得た。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>今後、3年目の事業として、出展する海外の見本市等の検討、ヨーロッパでの発表・商談会の開催など、販路開拓に向けた取組みの準備作業に着手する。</p>
3.	泉佐野商工会議所 (泉州こだわりタオルブランドの構築)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>JAPANブランド育成支援事業「第3回実行委員会」 2月29日 泉佐野商工会議所 役員室に於いて第3回実行委員会を開催。 今年度実施した内容報告の上、森専門家委員より事業全体の成果について報告を頂き、また、金野委員より、ニューヨークのギフトショー視察の報告をいただいた。泉州タオル業界団体 重里大阪タオル工業組合理事長より、今期一定の成果をえられ、来年度、更にステップアップを図るためのJAPANブランド事業実施への意見が述べられた。同委員会として、来年度も事業実施計画を推進することとした。</p> <p>JAPANブランド販路開拓報告会 北専門家委員 2月29日 北専門家委員により平成19年度、泉州タオル業界への指導と調査の結果について、報告会を実施した。</p>

泉州タオル業界は、非常に零細企業であり、個々企業独自の販路開拓とともに、グループ化などを視野にした、「webショップ」のあり方について研究報告された。

JAPANブランド「泉州こだわりタオル展」丸ビル
2月6日～7日 東京の中心である、千代田区「丸の内ビル
1F マルキューブ」において、展示会を開催。

オープニングには、泉州タオルの地元 新田谷泉佐野市長、
松浪文部科学副大臣、長安衆議院議員や経済産業省、
大阪府、日本商工会議所もご参加を頂きセレモニーを実施し、
また、COTTON USAとのコラボイベントにより、
タレントの三船美佳氏も来場した。

会場では、泉州こだわりタオルの特徴を打出した展示と
アンケート調査を実施し、両日で約1,000通を回収した。
来場総数約3,000名

JAPANブランド「泉州こだわりタオル展」泉佐野技術センター
2月21日～22日 泉州タオルの地元地域へのアピールのため 泉佐野技術センターにおいて、展
示会を開催。

PR広報

泉佐野技術センターの展示会に併せ、「泉州タオルポスター」「泉州タオルラベル」を掲示し、地域ブ
ランドとして、地元発信の一斉PRを実施した。



<担当者のコメント>

東京・丸の内では、予想を上回る来場者、アンケートで盛況であった。

日本の流通の中心地で、「泉州タオル/泉州こだわりタオル」をアピールできたことは非常に成果が
あった。

逆に、「泉州」がまだあまり知られていないのが実感であり、地域活性化のためにも、来年度も実施
し地域を広めたい。

4. 神戸商工会議所（神戸ブランドMeets上海）

<今月の事業実施状況>


◆第2回「神戸ブランド Meets 上海」プロジェクト運営委員会

委員は、(財)神戸ファッション協会、日本ケミカルシューズ工業組合、行政機関などから選出して
いる。舞台の本番当日から本事業の終了期限までの日数が少なく、委員全員の日程を調整するこ
とが困難だったため、事務局が各委員を訪問し、持ち回り形式で事業報告を行った。

日 時:平成 20 年 2 月 21 日(木)～2 月 29 日(金)の期間

場 所:各委員の事務所

内 容:(1)「神戸ブランド Meets 上海プロジェクト」実施結果について
(2)意見交換
(3)その他

	<p><担当者のコメント> 本事業を通して神戸ブランドの認知度は高まっており、現在、アンテナショップ開設を目指して現地百貨店関係者と協議を進めている。販売体制や在庫管理などの日中のビジネススタイルの違いや各種法的手続などの課題を検討し、実現できるようにしたい。</p>
5.	<p>菟田野商工会（UTANOブランドの創出～鹿革を活用した地域ブランド構築事業）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p>
	<p><担当者のコメント></p>
6.	<p>今治商工会議所（Imabariタオルプロデュース ～「新Towelライフ」の出演～）</p>
	<p><今月の事業実施状況></p>
	<p><担当者のコメント></p>
7.	<p>中芸地区商工会（「魚梁瀬杉」再生プロジェクト）</p>
	<p><今月の事業実施状況> 平成20年2月5日～2月8日 JAPAN ブランド エキジビション in ギフトショー</p> <p>平成20年2月26日 委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「Monacca」ワーキンググループの報告 ② 「新商品開発」ワーキンググループの報告 ③ 収支決算について 
	<p><担当者のコメント></p>